

中学校区におけるめざす子ども像
・自ら学ぶ姿勢を身につけ、想像力を持ちながら物事を多面的にとらえることのできる児童生徒（思考力）・自己の言動に責任を持ち（自己決定力）、他者への配慮を持ちながら（調整力）、人間関係において信頼を得られる児童生徒
・生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るために、スポーツの意義を理解し、基本的な生活習慣を実践できる児童生徒

令和6年度 重点目標 **健康で豊かな心を持ち、主体的に学ぶたくましい児童の育成** めざす子ども像「かがやく子」
【未来を切り拓く力を育成する学校】 ○総合的な学力の育成【授業改善への挑戦】 ○豊かな心と健やかな体の育成【個の自立⇄「仲間づくり」への取組】 ○安心・安全を自らつくる力の育成【自分の命を自分で守る取組】
【自主性・自律性に富んだ自立した学校】 ○学校マネジメント力の向上(情報共有・予防的取組・危機対応) ○働き方改革の推進・R-PDCA サイクルの確立 ○信頼される教職員集団へ（人権の尊重）

「確かな学び」の現状
本校の児童は学ぶことに意欲的であり、仲間とともに協働して学習に取り組む力や各教科の基礎・基本もおおむね身につけている。課題は、学校での学びを生かして次の課題へとつなぎ「自ら学びを進める」姿にはまだ至っていないところである。学校では主体的・対話的な学びを進め、目的をもって学んだ成果を校内の仲間や身近な人に伝える学習活動を取り入れる中で、学ぶ意義を考えたり自らの学びを振り返ったりすることで、「自らの学びを進める姿」を高めていきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状
基本的な生活習慣が身につけている児童が多い。豊かな心の素地である「あいさつ・返事」「そうじ」「言葉遣い」について様々な取り組みを行っているがまだまだ受け身の児童も多い。あいさつや掃除に心をこめて取り組むことは、自分を振り返り自らを成長させるため、また他者を理解し受け入れ仲間と協働するために不可欠であると気づかせたい。さらに自らの生活を見つめる習慣をもち改善のために取り組む意識や、安全のために自分の行動をよくしようとする意識を高めたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	授業改善 (主体的・対話的で深い学びの実現 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実)	●校内授業研究の実施により、めざす子ども像の具現化のための学習指導法・支援の在り方を研究	全教職員が参加する研究授業(計6回)の実施と全教員による校内公開授業(年間1回以上)を実施	研究・公開授業の実施及び、年度末の実践報告会の実施	年間計画に基づく実施・年度末	◎ 計画通り各学年の研究授業の実施。校内で授業を参観しあう授業公開週間を10月に実施済。	◎ 各学年の研究授業の実施と校内授業公開週間の実施、「既習事項」を生かした児童の主体的・対話的な学習への授業改善が進んだ。	◎ 計画通り研修が進んだことから、教職員の学ぶ意欲を感じることができる。これからも「わかる授業」を実施して「分かる喜び」を児童に与えてもらいたい。
			●校内授業研究の実施により、めざす子ども像の具現化のための効果的なICT活用法の研究				○ 活用状況は良好(1日に一回以上)。授業改善につながる有効活用についての研修を深めていく。	○	
			●各種学力調査の分析を、年間を通して計画的に実施し、児童の学びの実態・生活状況の把握をもとに授業改善を図る	学力調査等の問題分析・結果分析。分析を生かした授業改善を検討	研修の実施(年間計画に基づき計画的に実施)	年間計画に基づく実施・年度末	○ 全国学力学習状況調査、すくすくウォッチ、堺市学調の分析を全員で実施し「検証改善シート」にまとめ、授業改善につながる手立ての共有を図った。	○ また、学力調査問題の分析により、求められる資質能力についての理解を深めることができた。	○ 結果から、基礎基本の定着が図られていると判断できる。
			「上野芝授業スタンダード」の活用による、ノート指導の充実(自分の考えを書いている・めあてと振り返りが書かれている)	・「算数の授業で問題の解き方や考え方をノートに書いている」の肯定率85%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査	学期に一度・年度末	○ 各学年の研究授業や授業公開週間において授業づくりチェックシートを活用し、教職員同士の気づきの共有を図っている。ユニバーサルデザインの視点で、授業改善に努めている。	◎ 年間6回の研究授業後にユニバーサルデザインの視点で自らの授業をチェックすることで、授業改善が進んだ。「算数の授業で問題の解き方や考え方をノートに書いている」の肯定率がR6.12には85～92%に向上。スタンダードに沿った学びが定着した。	◎ 学び方を学ぶ授業が行われていると感じる。このまま継続してもらいたい。
			「上野芝授業スタンダード」の活用による、ユニバーサルデザインの授業の確立(特に板書の構造化の徹底)	・授業づくりシートの活用(めあてとまとめがある・学習の過程が明確か、児童の学び方に応じた有効な支援か)	日々の授業交流で、互いの板書・授業について意見交流	各学年での教材研究にて随時			
			●外部人材等を活用した教科横断的な授業の推進と、学習の成果の発信の場の構築	・「学んだ成果を、目的や相手を考えて伝える活動をしますか」の肯定率80%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査	学期に一度・年度末	○ 外部講師を招いた出前授業の実施により、深い学びにつながっている。異学年交流において学んだことを伝える場を設定している。	◎	◎ 地域人材を活用した学びを通して、地域を大切にすることを育んでいる。今後も地域の行事に参加するなど、もっと地域のことを知ってほしい
	★外国語科において、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりする活動の充実	・「英語で会話したい」の肯定率85%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査	学期に一度・年度末	○ パフォーマンステストの充実。道案内では、教室を町に見立てて行った。教職員の連携により、児童の主体性を評価している。	◎	◎ 同アンケートの肯定率(R6.12)が6年生で86%。会話を楽しむ姿が見られた。		
	学ぶ習慣	基礎基本の充実 学習習慣の確立	「家庭学習の手引き」「チャレンジノート」の活用による、家庭学習習慣・読書習慣の確立	・「1日あたりの読書」全くないを10%以下に ・「テレビゲームの時間」の1時間以下40%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査	学期に一度・年度末	○ 学校図書館の蔵書の充実や配架の改善を行い、貸し出し数や来館者の増加に向けて取り組むことで、読書習慣の確立をめざしている。	○ 「1日あたりの読書」全くない(R6.12月)各学年の割合が12～20%ほどおり、引き続き、生活習慣の改善に向けた取り組みが必要である。	○ ICTの利用時間と生活習慣との関連を注意して見守りたい。子どもが読書に親しめる環境づくりを学校家庭が連携して進めてほしい。
			●授業及び朝の学習における、音読・計算・漢字の反復練習の時間の十分な確保	単元ごとの評価テスト(基礎的な知識技能)の達成率を80%を超える	単元ごとの評価テストの実施	学期に一度・年度末	○ 各学年において、児童の習熟度に合わせた反復学習を朝の学習で行っている。	○	

豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	教育活動全体を通して、多様性を認め合い、人権が尊重される学校教育の実現（自己肯定感や他者への思いやりを育む道徳教育・人権教育の充実）	考え議論する道徳の実践・児童が安心して過ごせるための生徒指導体制の構築・全校朝会での指導講話を、継続的・系統的に実施	・「道徳の学習は大切か」の肯定率 90%を超える ・「自分によいところがありますか」の肯定率 85%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査 学校教育アンケート	学期に一度・年度末	○ 全校朝会において、各学年の担当教員が講話を行い、人権学習・道徳科の学習のきっかけとしたり、学びを深めたりできるようにしている。	◎ ・「道徳の学習は大切か（R6.12月）」の肯定率 91～97%。道徳授業実践を重ねた成果が表れた。	◎ 校内研究を通して、道徳授業づくりを進め、豊かな心の育成に努めてほしい。
			●いじめ防止基本方針に基づきいじめの未然防止・早期認知・早期対応（アンケートの活用・対策委員会による組織的対応）	・「いじめはゆるさない」の肯定率 90%を超える ・「周りの困っている人にできることはないか考える」の肯定率 90%を超える			○ 生活アンケートの実施やいじめ防止の授業を通して、「いじめは起こりうること」「いじめを見逃さないこと」を学ぶとともに、「他者を認め、思いやる仲間づくり」を進めている。	◎ 「いじめはゆるさないR6.12月」の肯定率 94～99%に大きく向上。いじめ防止の授業の成果が見られた。	◎ いじめ防止についての取組みが成果を上げていることが分かった。今後も全学年で継続してほしい。
豊かな心・健やかな体	健やかな体の育成	体育指導・保健指導・食育を通じた、健やかな体の育成	特別支援教育への理解に基づいた、児童・保護者の思いに寄り添った相談体制の構築	・「悩みを聞いてもらえる」の肯定率 75%を超える ・「教育相談の体制が整っている」の肯定率 75%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査 学校教育アンケート	学期に一度・年度末	◎ 教育相談やスクールカウンセラーによる面談についての周知を行い、児童・保護者ともに、いつでも相談できるようにしている。	◎ ・「悩みを聞いてもらえる（R6.12月）」の肯定率 77～83%（児童）、「相手の気持ちや状況を考えて行動（R6.2月）」の肯定率 88～95% ・「近所の人にあいさつ（R6.12月）」の肯定率 91～96% と改善した。	◎ ・日々の児童の様子を観察や児童アンケートにより、児童の不安や悩みに関わり添った取組みが感じられる。
			●学校行事や児童会活動において、清掃活動やあいさつ運動、仲間づくりをねらいとした取組みを充実	・「相手の気持ちや状況を考えて行動」の肯定率 85%を超える ・「近所の人にあいさつ」の肯定率 90%を超える ●「掃除の時間は『黙って』『最後まで』取り組んでいる」の肯定率 75%			○ 運動量の確保・運動領域ごとの系統的な指導について、校内研修を実施。体育の授業を通して、「自分ができるようになる」「友達もできるようになる」ことの喜びを味わえるような授業を行っている。	○ 「体を動かすことが好き（R6.12月）」の肯定率 71～91% ・「体育でどうすればうまく楽しくスポーツができるかを考えることがある（R6.12月）」の肯定率 84～90%	○ 体力づくりの成果が一定見られる。今後、外で元気に遊ぶ機会を増やすこと、体育の授業では怪我から身を守る指導も行ってほしい。
地域協働	信頼される学校	学校園間連携の推進 地域（行事 への参加など）地域協働の推進	★保健指導及び眠育を通して、自らの生活習慣を整えようとする意識の向上 給食指導を通してバランスのよい食事摂取の必要性の理解を図る	・「自分の生活（睡眠・食事・生活習慣）を見直し、よりよくしようと考えることがある」の肯定率→80%を超える	堺市児童生徒学習・生活状況調査 学校教育アンケート	学期に一度・年度末	○ 養護教諭を中心に「みん育」指導を行った。夏の熱中症や感染症から身を守るために、睡眠の大切さとともに、「自らの生活習慣を見直す」きっかけとなるように学習した。	○ ・「自分の生活（睡眠・食事・生活習慣）を見直し、よりよくしようと考えることがある（R6.12月）」の肯定率 75～87%	○ テレビゲームの時間の多さは、睡眠や視力に影響する。学校からの啓発に期待する。
			★幼小中連携を深め参観授業や合同研修を行い、協力や情報交換を行う。	・「小小連携・小中連携での取組みに参加している」肯定率90%を超える			○ 夏の津久野中学校区 4 校の合同研修をきっかけに、中学校へ安心して進学できるように、小中間の情報共有が活発化した。	○ 小中合同研修や、中学校でのふれあい清掃などへの参加を通して、地域を知り、地域を大切にしている心気が育ってきている。	○ 地域人材を活用した学びを通して、地域を大切にすることを育んでいる。今後も地域の行事への参加をPTAと連携して呼びかけるなど、地域のことに興味をもち、大切にできる児童を育ててほしい。
		ふれあい清掃、上小まつり、子どもカーニバルを中心に地域協働型の行事を推進する。	・地域・保護者と連携する行事に取り組んだり、地域主催の行事に参加したりしている」の肯定率 90%を超える ・「地域の行事に参加している」の肯定率 60%を超える				○ PTA 行事、地域行事についての予定を学校だよりに記載し、児童・保護者への周知を図っている。	◎ 校区の商店に協力を得て実施した校区探検を通して、上野芝校区の良いところを学ぶことができた。	

校長より（年度末）

○学校教育目標について保護者・地域の皆様にご理解いただき、様々なご支援をいただくことができた。今後もめざす子どもの姿とその具現化に向けた取組みを分かりやすくお伝えするにしたい。 ○生活科・総合的な学習の時間において、学んだことをまとめて人に伝える学習活動を積極的に取り入れることで、学ぶ意義を考えたり自らの学びを振り返ったりする機会が増え「確かな学び」を実現できた。また、「豊かな心・健やかな体」については、各アンケート結果から、道徳・人権学習、安全指導・保健指導を通して児童の意識が向上したことが明らかになった。自分も人も大切に「豊かな心」を育むことができたと考えている。今後も教育課程の充実を図り、地域のご協力をいただきながら、学校教育目標の実現にむけて取り組んでまいりたい。

学校関係者評価者から（年度末）

子どもたちの健全育成をめざした、学校・PTA・地域のより良い連携のために、学校からの情報提供が大変重要である。今後もめざす子どもの姿を地域全体で共有するためにも、学校協議会での討議を充実させていきたい。